

Crescendo

vol.126

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

 **メディキット 県民文化センター**
MEDIKIT ARTS CENTER

 **宮崎県立芸術劇場**
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

小野リサ
ボサノバ・コンサート in Miyazaki

松竹大歌舞伎

トライアル・シアター 2017
『都会の生活』

こどもおとなも劇場 #2
オペラシアターこんにやく座
オペラ『森は生きている』



小野リサ ボサノバ・コンサート in Miyazaki



こどもおとなも劇場 #2
オペラシアターこんにやく座『森は生きている』



松竹大歌舞伎

ハラハラすることもありましたが ～第22回国際音楽祭を終えて～

今年の音楽祭は、えびの市でのタンゴ演奏会に始まってオペラ「椿姫」のフィナーレまで、たくさんのお客様においでいただきました。演奏会ごとに「よかったよ…」と言ってくださる笑顔が昨年より多かった気がいたします。17日間、舞台裏の出来事を日誌風にまとめてみました。

4月30日 前日までハラハラした「Oh! My! クラシック」の国谷裕子さんが無事お見えになって一安心。実は高齢のお父さんが入院されて、大阪の病院でつききりの看病が続いていました。マネジャーからは万が一のことも考えておいてくれと言われていたのです。国谷さんはお疲れのはずなのに持ち前の意志力の強さでステージを務められました。お父さんが大好きな歌劇カルメンの「闘牛士の歌」をこの演奏会でやれることが嬉しいと言って、演奏を録音して病床のお父さんへのお土産にされました。

5月8日 県内の小学校6年生約3500人をアイザックスターンホールに招いてオーケストラを聴いていただく「子どものための音楽会」。毎年、支援学校の子どもたちも来場していますが、今年はある学校から「普段こうした外出をしたことがない重度の障がいのある子が一人いるが、一緒に参加させたい」という相談がありました。演奏中に救急車を呼ぶことになるかも知れないが、親御さんも一度はオーケストラを生で聴かせてやりたいと望んでおられるというのです。学校の先生方と劇場の職員が綿密な打合せを積み重ね、万一の時に備え、救急車や救急ヘリ出動の可能性を消防署に相談して当日を迎えました。私はそのお子さんの車椅子の近くで演奏を聴いたのですが、何事もなく演奏が終わるところにはよかったなあとしみじみ感じました。

5月11日 熊本の劇場での地震復興支援コンサート。約1500人のお客様の熱い拍手を浴びて、ズーカーマンさんと音楽祭管弦楽団は貸し切りバスで宮崎へ。私は劇場職員と一緒に少し遅れての帰り道。皆の携帯に電話やメールが次々に入り、熊本で震度4という連絡が。もう1時間早く演奏中に来ていたら大騒ぎになったかも知れない…と胸をなで下ろしました。

5月14日 恒例のオペラで閉幕。「椿姫」の余韻を味わいながらの打ち上げパーティー、その最中にまた一騒動。その日のうちに宮崎を離れる演奏家を乗せた飛行機最終便がエンジン不調で引き返し、代替便無く30名近くの演奏家が宮崎にもう一泊とのこと。全日空や観光ホテルの社員の皆さん、そして劇場の職員が大慌てで対応に。今年の音楽祭最後のハラハラでした。

ウィーンからやってきたキュッヒルさんや、劇場にサテライトスタジオを設けて生中継でお届けしたMRTラジオ「Go! Go! ワイド」のタケ坊&ジュンコさんなど、他にも素晴らしい思い出を多々織り交ぜて、何とか今年の音楽祭を終えました。この場をお借りして色々お力を尽くくださった皆様に、そしてお客様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場理事長 佐藤寿美

Special interview 日本のボサノバ第一人者！ 小野リサ に聞く！

🎙️ボサノバとの出会いは？

サンパウロで生まれて10歳で帰国した時、ブラジルの音楽がとても懐かしかったです。家ではいつもブラジルの音楽を聴いてて、そのうち自分でも歌いたいと思いギターを始めました。

🎙️幼いころの夢は？

父は私に医者になってほしいと思っていました。そして私もそう思っていました。でも帰国してからは歌手になることでした。歌うのが大好きで、音楽を仕事にしていきたいと決心したのは12歳のころでした。

🎙️小野さんにとってボサノバとはどんな音楽ですか。

ボサノバは無機質な音楽だと思います。いろんな色に染まることのできる数少ない音楽のスタイルだと思います。おしゃれなハーモニー、心地よいリズム、シンプルなメロディー、音楽に欠かせない三要素をしっかり持ち、さりげなく奏でるところが魅力的だと思います。

🎙️ブラジルでの音楽にまつわる思い出・エピソードは？

サンパウロでライブハウスを経営していた父は、日本の歌をととても懐かしく思い、藤山一郎さんの「東京ラプソディー」という曲にブラジルのリズムをつけて歌わせていました。曲の最後に、恋の都(Miyako)という歌詞があり、現地のブラジル人のお客様は、“Miyako”と言う掛け声をかけたいが為にお店に来るようになりました。ブラジルの人々はどんな音楽をも楽しめます。そんな単純なところから音楽を豊かにするのだと、父は知っていたんだと思います。

🎙️好きなポルトガル語と日本語を教えてください。

ポルトガル語では、「Senhora, Senhor」。英語で言う「ミセス、ミスター」ですが、自分の母親父親を呼ぶ時にも「セニョーラ、セニョール」と呼びます。ブラジルの人たちが家族を大切にしている背景に、両親を敬う気持ちがあることがうかがえる、好きな言葉です。日本語では、「行ってきます。お帰りのさい。いただきます。

美しいポルトガル語と心地よいギター演奏で聴く人を魅了する小野リサさんが、真夏の宮崎にやってきます！公演に先がけて行ったインタビューでは、自然体で“音楽”を楽しむ小野さんの魅力に迫ります！

ごちそうさまでした。」これらの言葉は日本にしかない言葉です。なんて素敵な言葉なんでしょう。

🎙️音楽活動で、何か変化してきていることはありますか。

音楽を始めた時から音楽に対する思い入れは変わりません。私たち音楽家は自分たちが見て感動した景色と一緒に分かち合いたいと思っているのだと思います。

🎙️1日の中で一番リラックスする時は？

ベッドに入って本を読んだり、映画を見たり、メールを見たり、ギターを弾いたりして、1日を振り返り眠りにつきます。趣味は筋トレです。20年前から筋力トレーニングをするようになりやめられません。

🎙️宮崎の印象や、楽しみにしていることは。

宮崎はとてものんびりしているところだと伺いました。ブラジルにとても似ているような感じがいたします。海も綺麗で緑も豊かで、昔の日本人ものんびり暮らしていたころは、もっと人生が豊かだったのではないのでしょうか。宮崎でそんなことを感じたい。宮崎を五感で楽しみたいです！

🎙️皆さまへメッセージをお願いします。

夏の開放感を思いっきり感じて、一緒に私も音楽を楽しみたいです。生で聴く音楽は特別なものです。長い人生の中でその時にしか伝えられない感動があります。その感動をぜひ皆さまと共有したいと思っています。

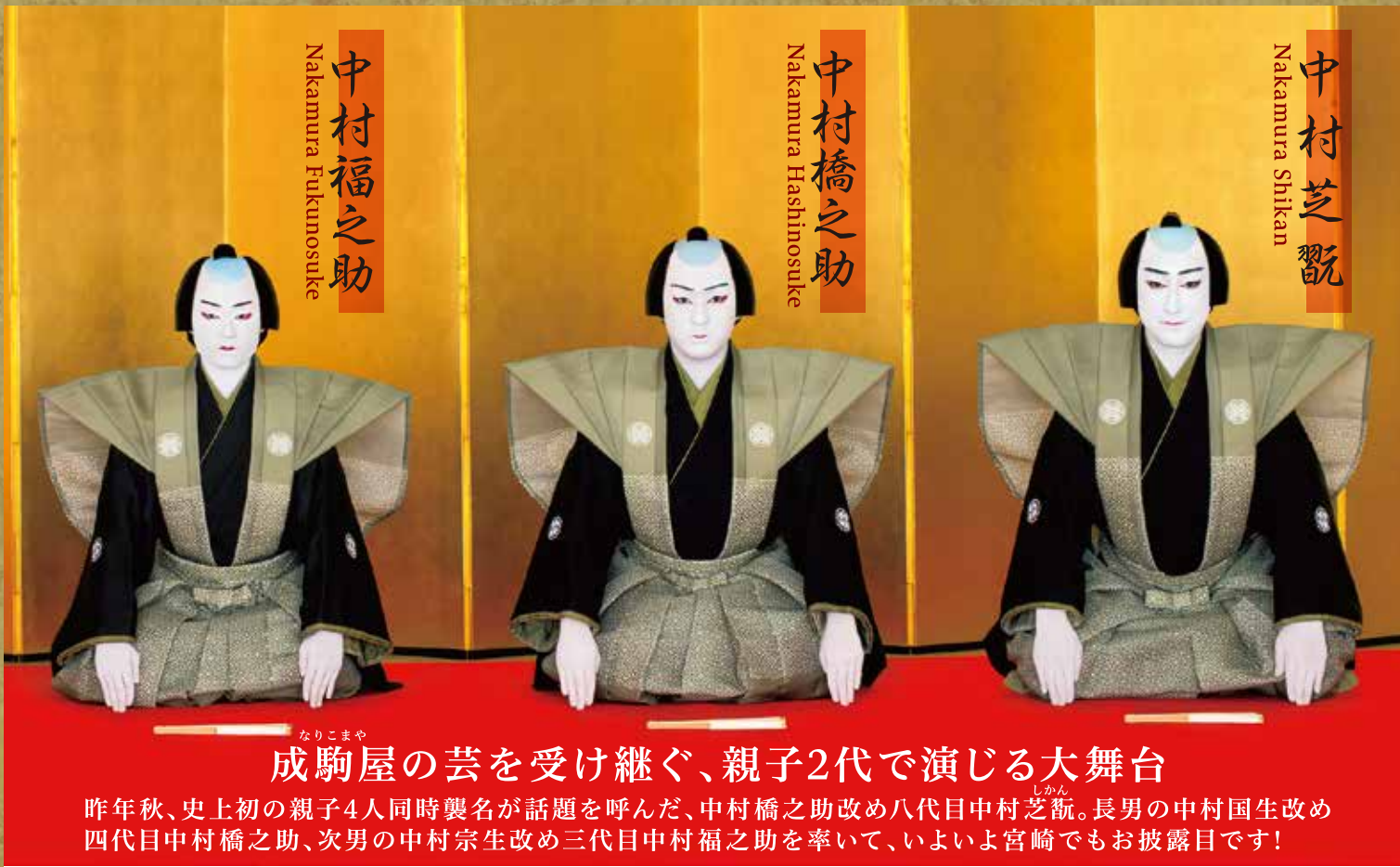
◆ボサノバ100字解説◆ ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで1950年代後半に生まれた音楽で、ポルトガル語で「Bossa Nova」は、「新しい傾向」という意味がある。ブラジルの伝統的な大衆音楽“サンバ”の延長線上にあり、ジャズの影響を受けたとも言われている。

公演情報	小野リサ ボサノバ・コンサート in Miyazaki
8月6日(日)	開場14:30 開演15:00 【会場】演劇ホール
【出演】小野リサ	ほか
【曲目】イパネマの娘、ウェーブ、ワンノート・サンバ	ほか
【料金】全席指定	一般3,500円[会員3,100円] U25割1,500円 ペア割6,000円[会員5,400円]※前売りのみ 親子割4,000円(小・中学生+一般)

小野 リサ

ブラジル・サンパウロ生まれ。10歳までの幼少時代をブラジルで過ごし、15歳からギターを弾きながら歌い始める。1989年デビュー。ナチュラルな歌声、リズムカルなギター、チャーミングな笑顔で瞬く間にボサノバを日本中に広める。ボサノバの神様 アントニオ・カルロス・ジョビンなど著名なアーティストとの共演や、海外での公演も積極的に行っており高い評価を得ている。1999年アルバム「ドリーム」が20万枚を超えるヒットを記録。これまでに日本ゴールドディスク大賞「ジャズ部門」を4度受賞。2013年にはブラジル政府よりリオ・ブランコ国家勲章を授与される等、日本におけるボサノバの第一人者としてその地位を不動のものとしている。





中村福之助
Nakamura Fukunosuke

中村橋之助
Nakamura Hashinosuke

中村芝翫
Nakamura Shikan

成駒屋の芸を受け継ぐ、親子2代で演じる大舞台

昨年秋、史上初の親子4人同時襲名が話題を呼んだ、中村橋之助改め八代目中村芝翫。長男の中村国生改め四代目中村橋之助、次男の中村宗生改め三代目中村福之助を率いて、いよいよ宮崎でもお披露目です！

撮影:荒木大南

江戸時代から続く 日本のエンターテインメント『歌舞伎』

伝統芸能「歌舞伎」と聞くと、格調高い世界だと思われがちですが、もともとは庶民のための娯楽でした。演目で描かれている、義理人情や粋といった日本の美学、人間の喜怒哀楽は、今も昔も変わらずに私たちを惹きつけてやみません。そんな歌舞伎をより楽しんでいただけるよう、宮崎公演に先立って披露演目をご紹介します！

◆注目演目は、

一谷嫩軍記『熊谷陣屋』

『熊谷陣屋』は、数ある義太夫狂言の中でも、我が子を犠牲にする武士の悲しさや人生の儚さが胸を打つ名作です。平家が源氏に追われて敗退する過程を描いた「一谷嫩軍記」(全五段)の三段目にあたる部分で、時代物の人気演目として知られています。「熊谷陣屋」を演じる型には「團十郎型」と「芝翫型」の2つがあり、今回は、“大芝翫”と称された四代目中村芝翫(1831-1899)が確立した成駒屋の型「芝翫型」で上演されます。117年ぶりとなる立役(男役)を勤める俳優の芝翫が、源氏の武将・熊谷直実を演じます。



隈取

歌舞伎独特の化粧法を「隈取」といいます。もともとは、顔に浮き出る血管や筋を大げさに表現したもので、役柄によって使われる色のパターンが決まっています。芝翫が演じる熊谷直実、赤っ面に「芝翫筋」という眉尻と目じりにかけて赤い筋が入っているのが特徴です。

《あらすじ》

一の谷の合戦後、源氏方の熊谷直実の陣屋(戦いの前線基地)には、初陣を飾った息子小次郎の身を案じた妻相模が訪れている。陣屋に戻った熊谷は、小次郎の様子や戦いで敦盛を討ったことを明かす。すると、奥から現れ、熊谷に斬りかかろうとする敦盛の母、藤の方。熊谷は、立派だった敦盛の最後の様子を丁寧に物語る。そこへ源義経が現れ、その場で首が本物かどうか確かめる首実検を命じ、熊谷が首を差し出すと、そこには熊谷の息子小次郎の首が。義経は、後白河天皇の落胤(認知されていない子)である敦盛を救うよう密かに制札(一枝を切らば一指を切るべし)を託しており、これを「一子(敦盛)を切らば(替わりに)一子(小次郎)を切るべし」と読み解いた熊谷は、我が子を身替りにしたのだった…。

義太夫狂言

とは…

演目には、大きく分けて「義太夫狂言」と「純歌舞伎狂言」がある。「義太夫狂言」は、人形浄瑠璃のために書かれたものを、歌舞伎の台本にして演じるもの。古典といわれる演目の多くは、「義太夫狂言」が占める。

しかんがた

芝翫型とは…

「芝翫型」は、四代目中村芝翫が確立した型で、昭和39年に二代目尾上松緑が演じて以来、48年ぶりに当時の橋之助が復活上演。「團十郎型」との大きな違いは、物語の最大の見どころ、直実が真相を明らかにする時の制札をかまえた「制札の見得」。團十郎型では制札を逆さにして持ち、芝翫型では、人形浄瑠璃の演出から発した古風な型で制札を上にも構える。



「制札の見得(芝翫型)」

くまがいなおざね

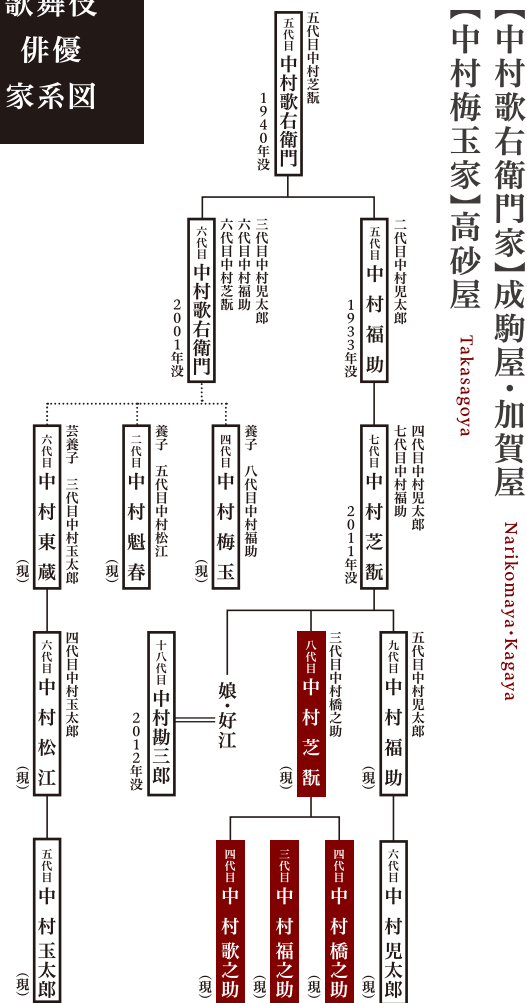
熊谷直実とは…

平安末期から鎌倉時代初期に活躍した武将。一ノ谷の合戦では、平敦盛を討ち取ったが、その戦の非情さや世の無常観などは「平家物語」にも描かれている。歌舞伎の『熊谷陣屋』は、敦盛と直実のエピソードを脚色したもの。



写真:熊谷市提供(熊谷直実像)

歌舞伎俳優家系図



※は、2016年10月に襲名。

人間国宝でもあった父・七代目芝翫の名を継いで行われた、八代目中村芝翫の襲名披露。親子4人同時襲名という成駒屋にとって華やかな門出は、昨年の10月、11月の2か月に渡る歌舞伎座での興行から始まりました。今回の全国巡業でも「少しでも皆さんに喜んでいただける襲名披露にしたい」と語る芝翫。待ちに待った宮崎公演の幕が開きます。

公演情報 松竹大歌舞伎

9月6日(水) 【昼の部】開場13:00 開演13:30
【夜の部】開場17:30 開演18:00
【会場】演劇ホール

【演目】狸々／襲名披露口上／一谷嫩軍記 熊谷陣屋
【出演】中村芝翫 中村橋之助 中村福之助 中村梅玉
中村扇雀 坂東彌十郎 尾上松緑 市川高麗蔵
中村橋太郎 中村梅花

【料金】S席7,000円[会員6,300円]
A席5,000円[会員4,500円] U25割2,500円※A席のみ
親子割5,500円(小・中学生+一般)※A席のみ



中村梅玉



中村橋之助



中村福之助



中村芝翫

撮影:荒木大南

トライアル・シアター 2017 『都会の生活』

気鋭の演出家、振付家、音楽家が宮崎に滞在し、一般参加の出演者たちと約1週間の期間で舞台作品をつくりあげるシリーズ『トライアル・シアター』。シリーズの第2弾となる今回は、日本のコンテンポラリーダンス界を牽引し続ける舞踊家・森下真樹(東京)を、構成・振付・演出にお迎えしてお届けします。これまで、演劇や美術などさまざまな異ジャンルとのコラボレーションを試みてきた彼女が、今回の舞台創作では、劇作家・演出家・エッセイストなどマルチに活躍した如月小春の“ことば”をもとに、16歳から64歳までの男女15人と、“ことば×身体表現”による新しい舞台芸術の世界にトライ(挑戦)します。

如月小春
のことば

舞踊家
森下真樹
の異ジャンル
コラボが
実現!



Message 舞踊家 森下真樹 もりした まき

はじめまして、森下真樹です。森下家は父が熊本、母が大阪、100パーセント九州の血です。ボトンと生み落ちたのも大分です。生まれてから神奈川、東京、千葉、愛媛と、父親の転勤で小学校は3つ通っていました。転校先で友達を早くゲットするために「エレベーターガールごっこ」「マキ手話」「つまさきごっこ」などのからだを使ったあそびを開発していました。これらの「あそび」が、私のダンスにつながっています。学校へワークショップしに行くときは「からだあそびの達人、マキバンバン参上!」と言って、からだをおもちゃのようにして子どもたちとあそんでいます。「なんか、ダンスしているみたいだね」って子どもたちに言われます(笑)。そんな自由なダンスがあってもいいですね。100人100様、ひとそれぞれ自分らしい表現があります。如月小春さんの「ことば」や「音楽」からイメージを膨らませて、宮崎の濃いメンバーとともに自由に豊かな表現ができたらいいなと思っています。血は九州ですが、宮崎へは初上陸です。本番へ向けて何度か通います。真夏の南国を、焼酎ロックでスカッと、辛麺でべる…も楽しみにしています。食べること大好きです、クリエイションへの活力となります。オススメの美味しいものを教えてください!

プロフィール 2003年ソロ活動を開始、以降10か国30都市以上でソロ作品を上演。演劇や音楽、漫画、美術などジャンルの枠をこえたコラボレーションにより、活動の場を広げる。また、全国各地にてワークショップも盛んに行っている。周囲を一気に巻き込み、独特な「間」からくる予測不可能、奇想天外な動きで展開されるユニークでパワフルなワールドが特徴。2013年、第8回日本ダンスフォーラム賞受賞。2015年度より(公財)セゾン文化財団シニア・フェロー。 <http://maki-m.com/> [twitter @makibanban](https://twitter.com/makibanban)

Report 出演者オーディションを開催しました!



6月4日(日)、森下真樹さんによるワークショップオーディションが、前半・後半の2回に分けて約3時間ずつつたっぴり行われました。緊張感が漂うオーディション会場で、いきなり踊り出す森下さん!ダイナミックでキレイのあるダンスをしながらの自己紹介に、会場の張り詰めていた空気が一気に和らぎました。オーディションでは、歌や特技を一人ずつ披露したほか、一人の動きを全員で真似るなど、身体を

動かしながらゲーム感覚で楽しめる内容が盛りだくさん。あっという間に時間が過ぎました。中でも一番印象的だったのは、参加者全員でのダンスです。森下さんの真似をして、一見脈絡のない動きを夢中で覚えていく参加者たち。最後に音楽がかかると、いつの間にかそれらの動きが一つのダンスに!その場にいた全員が驚きと興奮に包まれ、一瞬で森下マジックの虜になりました。次に森下さんが来るのは7月下旬。今回のオーディションで過ごした時間を手がかりに、いよいよ作品創作がスタートです。



過去の公演の様子

たいけん密着!レポート



▲まずは、「オペラ」と「演劇」の違いをそれぞれ実演!オペラの歌いながらのお芝居に、目も耳も釘づけです!



▲劇中の歌『十二月(つき)の歌』を全員で歌います!「もえろ~もえろ~」のフレーズが耳に残る歌で、みんなの声の強弱で、青木さんが演じる“火”が大きくなったりと小さくなったりと楽しそうでした。

たいけん感想

前田晃誠くん(5年生)

オペラは、歌でいろいろなことを表現していて面白いなあと思いました。歌役者さんの声がとてもきれいでした。みんなで考えてつくった動きをしながら歌うのも楽しかったです。本番も楽しみです。



歌役者に聞く!鑑賞前のポイント予習!ワークショップの講師を務めたオペラシアター「こんにゃく座」の歌役者お2人に、劇団の特徴や公演の見どころを教えてくださいました。



歌役者の青木美佐子さん、泉篤史さん

こんにゃく座ってどんな劇団?

こんにゃく座の“こんにゃく”は、東京藝術大学で指導されていた“こんにゃく体操”が由来になっていて、現在も、身体訓練として必ず実施しています。1971年の創立当初から日本語によるオペラを創作し全国各地で上演していて、作品のレパートリーは、外国の作家のものから日本の古典、創作ものなど多岐にわたります。言葉がよく伝わり、ちいさな子ども達から大人まで楽しめて、心に残るオペラを目指しています。

『森は生きている』ってどんな物語?

わがままな女王様が、真冬のさなかに4月の花“マツユキ草”を欲しがったことで国中が大騒ぎになります。“マツユキ草”を森の中に探しに行くことになった一人の娘が、大晦日の夜にだけ集まる、一年の“月”と出会うことで、物語が次々に展開していきます。

見どころ、聴きどころは?

作曲は、日本を代表する作曲家・林光(1931~2012)。ピアノ1台の生演奏ですが、どの曲も瑞々しく物語を彩っています。また、衣装もカラフルで、特に“十二月(つき)の精”の衣装はカタチが面白いので、毎回子ども達の反応が楽しいです。舞台セットはシンプルですが、ぐるぐるまわったり、揺れたりすることで、想像力が掻き立てられるようになっています。音楽と物語がどんどん体に入ってきて、どなたが観てもきっと何か心が残るオペラです。

こどもおとなも劇場 #2 オペラシアターこんにゃく座 オペラ『森は生きている』

世界の名作物語を“こども”も“おとな”も一緒に楽しめる舞台作品にしてお届けするシリーズ「こどもおとなも劇場」。今年は、当劇場と門川町総合文化会館で、オペラシアターこんにゃく座の代表作、オペラ『森は生きている』を上演します。今回のレポートでは、公演に先立ち、西門川小学校(門川町)で実施した、参加体験型「事前ワークショップ」の様子をお届けします。

事前ワークショップ 門川町立西門川小学校編~



▲見よう見まねで「こんにゃく体操」にチャレンジ!肩や背、腰の筋肉をこんにゃくのようにだらしなくゆらゆらさせて、体の余分な力を抜いていきます。この体操をすると声が出やすくなるんだそうです。



◀オペラ『森は生きている』の物語のあらすじを紹介!ほんの少しでしたが、耳に残る歌と音楽、表情豊かな歌役者さんの演技に、子ども達はあっという間に物語の世界に引き込まれていました。



▲各チームで考えた動きとともに『十二月の歌』を大合唱。最初は緊張気味だった子ども、大きな声で歌い、元気よく動いていました!

公演情報 こどもおとなも劇場 #2 オペラシアターこんにゃく座 オペラ『森は生きている』

立山Dの“ココ”に注目!
12月の精に出逢う少女のお話。私たちは忙しく「時間」に追い回されているよう。でも本当にそうなのか?こどもおとなも、彼女と一緒にいざ森へ♪

■宮崎公演

7月8日(土) 開場13:30 開演14:00

【会場】演劇ホール

【原作】サムイル・マルシャーク(湯浅芳子訳による)

【台本・作曲】林光

【演出】大石哲史

【出演】青木美佐子 井村タカオ

豊島理恵 沢井栄次 齊藤路都

泉篤史 ほか ピアノ: 榎原紀保子

【料金】全席自由

一般2,500円[会員2,200円]

U25割1,000円

親子割3,000円(4歳~中学生十一歳)

■門川公演

7月9日(日) 開場13:30 開演14:00

【会場】門川町総合文化会館

世界的ヴァイオリニストが宮崎で紡ぐ音楽世界！

7月20日(木)

開場18:30 開演19:00

チケット発売中

アイザックスタンホール

「17みやぎの舞台芸術シリーズ」
「浦川宜也 音楽の真髄」



出演：浦川宜也(ヴァイオリン)
日高亜美(ピアノ)
日高慶子(ヴァイオリン)

主催：浦川宜也演奏会実行委員会
公益財団法人宮崎県立芸術劇場

全席自由 一般2,500円 U25割1,500円

Attention(ご注意)

- ◎記載情報は変更になる場合があります。
- ◎割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
- ◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く
- ◎託児サービス(有料・事前申込要)がご利用いただけます。※一部公演除く

7月8日(土)

開場13:30 開演14:00

演劇ホール

こどもおとな劇場#2

オペラシアターこんにく座 オペラ『森は生きている』

詳細はP6▶▶▶

チケット発売中

◆門川公演(虹の架け橋事業)

7月9日(日) 開場13:30 開演14:00 会場：門川町総合文化会館
問合せ：門川町総合文化会館 TEL:0982-63-0002

原作：サムイル・マルシャーク(湯浅芳子訳による)

出演：青木美佐子 井村タカオ 豊島理恵 沢井栄次 齊藤路都 武田茂
飯野薫 大久保藍乃 泉篤史 ほか ピアノ：榊原紀保子

全席自由 一般2,500円[会員2,200円] U25割1,000円

親子割3,000円 ※4歳～中学生+一般 ※4歳からご入場いただけます。

7月29日(土)

開場10:30 開演11:00

アイザックスタンホール

おながくのおもちゃ箱シリーズ Part.5

夏休みだよ！全員集合！

0歳から入場できるコンサート▶

チケット発売中

出演：黒木奈津季(ピアノ) 柳田裕輔(ギター) 大西映光(ベース)
衛藤和洋(ドラム) 伊豆諤子(司会)

全席自由 4歳未満無料 4歳以上500円 なかよしチケット700円 ※4歳以上2人1組、前売りのみ

7月29日(土)

開場13:00 開演13:30

演劇ホール

鼓童「若い夏」(共催公演)

出演：太鼓芸能集団 鼓童

全席指定 S席5,800円[会員5,200円] A席4,800円[会員4,300円] U25割3,500円

親子割6,300円 ※小・中学生+一般、S席のみ

チケット発売中

8月6日(日)

開場14:30 開演15:00

演劇ホール

小野リサ ボサノバ・コンサート in Miyazaki

出演：小野リサ(ヴォーカル&ギター) ほか

全席指定 一般3,500円[会員3,100円] U25割1,500円 ペア割6,000円[会員5,400円]

親子割4,000円 ※小・中学生+一般

詳細はP1・2▶▶▶

チケット発売中

8月26日(土)

開場18:30 開演19:00

27日(日)

開場13:30 開演14:00

演劇ホール 舞台上舞台

トライアル・シアター2017『都会の生活』

原作：如月小春 構成・振付・演出：森下真樹

出演：大谷憲史 小倉鉄夫 片山敦郎 片山優花 川越彩子 久保田杏海 黒田吉郎
佐田麻佑花 島田理央 進藤綾乃 平真子 林田真依 松山章子 宮本日温 吉田達哉

全席自由 一般1,500円[会員1,300円] U25割1,000円

詳細はP5▶▶▶

会員発売 7/2
一般発売 7/9

9月6日(水)

【昼の部】
開場13:00 開演13:30

【夜の部】
開場17:30 開演18:00

演劇ホール

松竹大歌舞伎

出演：中村芝翫 中村橋之助 中村福之助 中村梅玉 ほか

演目：狸々(長唄囃子連中)、襲名披露口上、
一谷嫩軍記「熊谷陣屋」(昼の部：福之助出演、夜の部：橋之助出演)

全席指定 S席7,000円[会員6,300円] A席5,000円[会員4,500円] U25割2,500円 ※A席のみ

親子割5,500円 ※小・中学生+一般、A席のみ

詳細はP3・4▶▶▶

チケット発売中

9月14日(木)

15日(金)

開場18:30 開演19:00

イベントホール

「17みやぎの舞台芸術シリーズII

FUKAIPRODUCE羽衣『瞬間光年』

7/9一斉発売

作・演出・音楽：糸井幸之介

出演：深井順子 日高啓介(企画提案者) キムコス 岡本陽介 浅川千絵(以上、FUKAIPRODUCE羽衣)
幸田尚子 石川朝日 飯田一期

全席自由 一般2,500円 U25割1,000円



「Let's和の音♪」今年の夏は、劇場で和楽器体験しませんか？
お箏のおけいこ&コンサートや、箏・三味線・笙・鼓・笛が体験できるワークショップを開催します！



昨年の「はじめてのおけいこ」の様子

①はじめてのおけいこ ◀ 応募締切 7/7(金) 必着

箏の「おけいこ」を2時間×3回実施！

最後はプロの演奏家とコンサートで共演します。

●おけいこ日 7/30(日)・8/5(土)・8/12(土) ●リハ 8/19(土)

●本番 8/20(日) ※小・中学生対象 ※箏爪代は別途要

●参加費 3,000円

②かじってみよう！ ◀ 応募締切 7/31(金) 必着

こと しゃみせん しょう こつづみ ふえ

「箏」「三味線」「笙」「小鼓」「笛」の中から、

好きな楽器を選んで90分じっくり体験できます。

●開催日 8/19(土) ※小・中学生対象(三味線のみ小学5年生～中学生対象)

●参加費 各クラス1,000円

③ふれてみよう！ ※事前申込不要

5つの楽器をちょっとずつ自由に体験することができます。

●開催日 8/20(日) ●参加費 500円 ※コンサート入場無料

※小学生以上であれば、どなたでもご参加できます。

お問合せ



宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210
http://www.miyazaki-ac.jp

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670

Twitterとfacebook随時更新中！「フォロー」と「いいね！」お待ちしています。